

事業番号	04 05 01	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	■ 点検
事業名	中国帰国者地域生活支援事業			担当課	部局	健康福祉部
					課・室	地域福祉課
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト			E-mail	chiiki-fukushi@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	6-2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり 4 社会的援護の促進		実施期間	S51 ~	

1 事業の概要

目指す姿	中国帰国者が高齢化する中で、老後生活を安心して暮らせ、気軽に相談・指導や日本語教育が受けられるよう引き続き支援を行うとともに、帰国者により身近な市町村が主体となった支援ができることを目指す。						
現状	戦後、幾多の困難と辛苦を経て祖国へ帰国した中国帰国者は、言葉や生活習慣の違いから孤立化する傾向にあるため、生活上の諸問題の相談や助言等を行い、地域において安心して穏やかに自立した暮らしができるよう支援している。中国帰国者が少ない市町村に代わり、県が事業主体となり関係市町村と連携し事業に取り組んでいる。						
県が関与する理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()		【左記の説明、根拠法令等】 中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律				
事業内容	① 成果目標(H24)						
	中国帰国者支援相談員、通訳等を派遣し生活・就労等に関する相談・指導、長野県日中友好協会へ委託して行う日本語教室や交流事業等の実施及び市町村担当者研修会の開催により中国帰国者の自立を支援する。						
事業内容	② 事業内容 (単位:千円)						
	項目	実施方法	H24事業実績	H24 (当初)	H24 (決算)	H25 (当初)	
	中国帰国者支援交流会	委託	帰国者の意見発表、全県レベルの交流会等の実施	712	925	712	
	市町村担当者研修会	委託	市町村担当者の中国帰国者への理解を深め、支援の向上を図るため研修会を開催	136	24	120	
	日本語教育支援事業	委託	日本語学習の場を提供するため日本語教室を開催	6,223	6,210	5,460	
	給付金(日本語教室通所活動推進)	直接	日本語教室参加への交通費、教材費支援	900	483	700	
	スクーリング事業	委託	通信教育を補完するため、対面授業を実施	397	313	397	
	中国帰国者支援相談	直接	帰国世帯に対する生活指導、相談、助言を行うため、中国語会話のできる相談員を配置し支援	14,233	14,233	14,262	
	通訳等派遣事業	直接	帰国者が地域社会で自立していくための生活支援や医療機関等へ通訳を派遣	2,919	2,919	2,919	
			合計	25,520	25,107	24,570	
事業コスト	成果目標の達成状況						
	区 分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度		
		前年度繰越					
	予算額	当初予算	28,061	25,673	25,520	24,570	
		補正予算					
		合計(A)	28,061	25,673	25,520	24,570	
	Aの財源	国庫支出金	20,095	19,821	19,804	18,826	
		県債					
		その他(繰入金)	71	71	72	72	
		一般財源	7,895	5,781	5,644	5,672	
決算額(B)	25,565	24,266	25,107				
概算人件費	職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00		
	概算人件費(C)	8,317	8,258	8,258	8,258		
	概算事業費(B(A)+C)	33,882	32,524	33,365	32,828		
項目	現況(見込)	H24		H25			
		目標	成果	達成状況	目標		
中国帰国者支援相談数	6,000件	6,000件	5,654件	未達成	6,000件		
日本語教室参加者数	2,000人	2,000人	2,293人	達成	2,000人		
通訳等派遣件数	800件	800件	763件	未達成	800件		

目標に対する成果の状況	日本語教室の参加者数は目標を約15パーセント上回った。支援相談及び通訳等派遣件数は目標を約5パーセント下回ったものの、ほぼ例年並みの実績となり帰国者ニーズに応じることができた。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 中国帰国者の置かれた特別な事情に鑑み、日本語教室においては参加しやすい環境づくりに努め、相談及び通訳等においては帰国者ニーズに応じた助言等を行うことにより、安心して生活が送れるよう引き続き支援を実施していく。
---------------------	---